

放課後まなび教室ニュース

放課後まなび教室に関する情報をお届けする『放課後まなびニュース』。今号は、令和5年2月16日に開催された『スタッフ研修会』の様子などをお届けします。

放課後まなび教室スタッフ研修会を開催しました！！

講師：畑中 宗伸（はたなか たかのぶ）氏
 （教育委員会事務局指導部生徒指導課子ども支援専門官・指導主事）



今回のテーマ：「今どきの子どもへの向き合い方」

畑中先生の講演では、

- ・子どもたちの困りを引き起こす、さまざまな要因（発達障害、情報処理の得意、不得意）についての説明
- ・思いの伝え方や子どもへのアプローチの仕方などを考えるためのアサーショントレーニングの実践
- ・子どもたちの学びやすさに配慮した環境のユニバーサルデザインの事例紹介

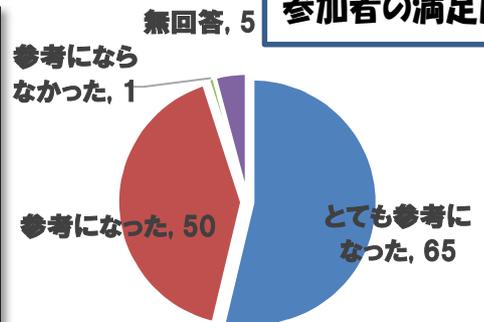
などについて伺うことができました！



参加者の声

- ・子どもの困りごとを理解する。大切なことだと思いました。1人1人違うので難しいですが、寄りそって共に学んでいきたいです。
- ・言葉で伝える大切さを感じました。今後、今日のお話を思い出しながら子どもと接したいと思います。
- ・体験型の講義（アサーショントレーニング）が楽しく大変有意義な講義だった。

参加者の満足度



開設5年の放課後まなび教室（下京雅小学校）へ、感謝状の贈呈を行いました！！



学校統合により平成29年4月に開校した下京雅小学校にて、「放課後まなび教室」を実施いただき、開設から5年を迎えたことから、感謝状の贈呈を行いました。スタッフの皆様には、子どもたちの放課後における自主的な学びの場と安心安全な居場所づくりにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

発行 京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課 放課後まなび教室担当
 〒604-8171 中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1 井門明治安田生命ビル 2階
 電話 075-748-0016 FAX 075-254-5020

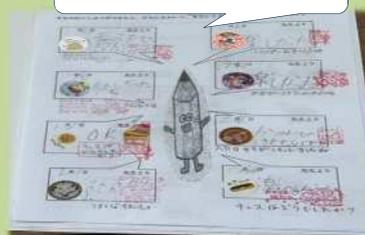


スタッフの皆様におかれましては、日頃より「放課後まなび教室」の運営にご協力いただき、ありがとうございます。今号では各学校区で実施しています「放課後まなび教室」の様子をご紹介します。

百々小学校(山科区)

百々小学校では、「こんにちは！」と元気よく子どもたちが挨拶し、教室の入口にある棚から名札を取り、宿題に取り組みます。宿題が終わった子どもたちは、将棋やパズルをしたり、友達同士で塗り絵をしたりと楽しく放課後を過ごしています。1年生の男の子たちの間では、廊下で紙飛行機を飛ばすのが人気で、みんなで競い合っただけで紙飛行機を作っている姿がとても印象的でした。また、帰る際には、「ふりかえりシート」に今日の感想を書いて先生に提出します。子どもたちは、先生からスタンプを押してもらい、とても嬉しそうに帰宅していきました。スタッフの方にお話を聞いてみると、「地域の子とも顔見知りになってコミュニケーションをとりながら見守ることに、とてもやりがいを感じています。」と話されていました。

ふりかえりシート



竹田小学校(伏見区)

竹田小学校では、多くの学生ボランティアの方がまなび教室のスタッフとして活動しています。大学推奨のインターンシップや教育学部からの紹介など、きっかけは様々ですが、子どもたちと積極的に触れ合う姿が印象的でした。子どもたちも、スタッフの方に宿題の質問をしたり、終わったらお喋りしたりと、親身で和やかなスタッフの方々を慕い、笑顔で放課後を過ごしていました。スタッフの方にお話を聞いてみると、「子どもたちと接する楽しさや、教えたことを理解してもらえる瞬間にやりがいを感じています。」と答えてくれました。現在はコロナ禍ではありますが、今後は、より多くの子どもたちにまなび教室に参加してもらったり、低学年・高学年の交流を作ったりと活気溢れるまなび教室を目指しているそうです。



南大内小学校(南区)

南大内小学校では、子どもたちは、大きな声で「こんにちは！！」と挨拶し、元気いっぱいです。自分の名前が書かれた名札を手に取り、参加カードをスタッフの方に提出して宿題に取り組みます。子どもたちとスタッフの仲も深まっているようで、宿題のやり取りも和気あいあいとしていました。子どもたちの宿題に取り組む姿は自信に溢れており、「できた！」と力強くスタッフに宿題を確認してもらいに行く姿が印象的でした。スタッフの方にお話を聞いてみると、「子どもたちに覚えられていくのが嬉しい。地域で子どもたちの成長を見守れるのがやりがいです。」と話されていました。また、様子の気になる児童や欠席の児童がいた場合は、スタッフが学校や児童館等と常に連絡を取り合い、子どもたちを児童館まで送り届けるなど、学校、児童館、まなび教室が一体となって、安心・安全な放課後の居場所づくりに取り組んでおられます。

